

【引受保険会社】



〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

Global Partner/Net VA

グローバルパートナー/Net VA

* Global Partnerおよび Net VA は、弊社変額個人年金保険の販売名称です。

月次運用レポート

2011年4月

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社



アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

アライアンス・バーンスタイン* /アライアンス・バーンスタイン株式会社



米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタインは、業界最大級のグローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、グロース株式、バリュー株式、債券、ブレンド戦略など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

アライアンス・バーンスタイン株式会社は、アライアンス・バーンスタインの日本拠点で、1986年(アライアンス・キャピタル・マネジメンツ・ジャパン・インク 東京支店の設立)以来、個人投資家や機関投資家の皆様に幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)(*)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

* 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

変額個人年金保険

特別勘定の月次運用レポート (2011年4月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2011年4月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、下落しました。TOPIX(東証株価指数)は前月末比▲2.02%下落の851.85ポイントで終了しました。上旬は、震災や原発事故の企業業績への影響が懸念され下落して始まりまし。その後も、原発事故が国際評価基準で最悪のレベル7となったこと、さらに円高傾向などを嫌気して軟調な展開が続きました。下旬にかけては、大口需要者の電力使用削減計画が緩和されるとの報道や、米国の金融緩和政策の継続などを好感して欧米株式市場が底堅い推移となったことから値を戻す展開となりました。業種別(東証33業種)では、加工食品需要の回復期待から「食料品」(前月末比+3.04%)が最も上昇した一方、ウェイトの大きい任天堂の業績悪化により「その他製品」(同▲9.09%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上旬は米経済指標の改善や景気回復期待から上昇しましたが、米格付け会社による米国国債の格付け見直し引き下げを嫌気して一時下落しました。下旬にかけては、好調な企業決算とFRB(米連邦準備制度理事会)の金融緩和姿勢の継続などが好感されて反発し、NYダウは前月末比+3.98%上昇の12,810.54ドルで終了しました。欧州株式市場は、好調な米経済指標などを好感して上昇して始まりまし。米格付け会社によるアイルランドの格下げやギリシャの財政懸念の高まりなどから一時下落する局面もありましたが、下旬にかけては欧米企業の好決算が相次いだことなどから上昇して終了しました。市場別騰落率は、英FT100が前月末比+2.73%上昇、仏CAC40が同+2.95%上昇、独DAXは同+6.72%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、上旬に金利上昇した後、下旬は低下し、新発10年国債利回りは1.200%となりました(前月末は1.255%)。上旬は、東日本大震災の復興・復旧に向けた政策が意識される中、財源として国債の増発が警戒される展開となり、金利は1.3%台へと上昇しました。しかしその後、大規模余震の発生や株価が弱含みに転じたこと、復興財源として消費税などの増税案が浮上したことなどから買い優勢の展開となりました。下旬にかけては、米国長期金利が低下基調となったことなどから1.2%台前半での推移が続きました。日銀は、政策金利を据え置き、年0~0.1%程度を維持しました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

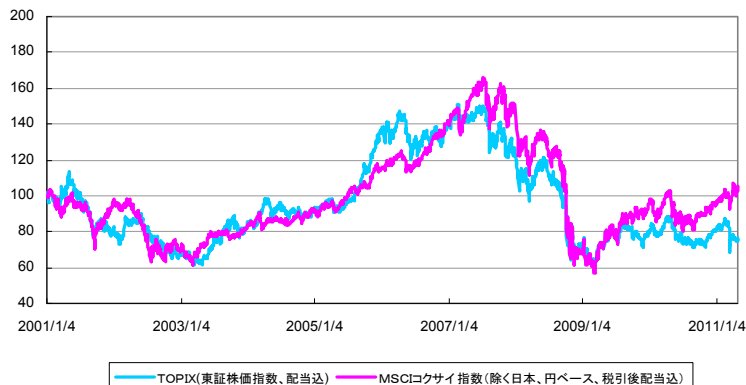
米国債券市場は、上旬にFRBが量的緩和政策の延長の必要が低いことを示唆したFOMC議事録などを受けて売られる局面もありましたが、米政府が財政赤字削減策を発表したことなどから買い戻される展開となり、金利は低下しました。米10年国債利回りは、月末は3.286%となりました(前月末は3.470%)。欧州債券市場は、ECBが0.25%利上げを決定したことなどが売り材料となりましたが、米格付け会社によるアイルランドの格下げやギリシャの財政懸念の高まりなどを受けて買い戻されたことから金利は低下し、独10年国債利回りは、月末には3.239%となりました(前月末は3.354%)。FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を0.25%引き上げ、年1.25%としました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、上旬は米国景気回復期待などから、円安となりましたが、その後は米株価の下落や米国債の格付け見通しの引き下げ、米長期金利の低下などから円高が進行しました。円は対ドルで前月末比1円07銭(+1.29%)円高ドル安の1ドル=82円08銭となりました。ユーロ/円相場は、ECBによる利上げの実施や追加利上げ観測などを受けて円安となりました。円は対ユーロで前月末比4円20銭(▲3.57%)円安ユーロ高の1ユーロ=121円77銭となりました。

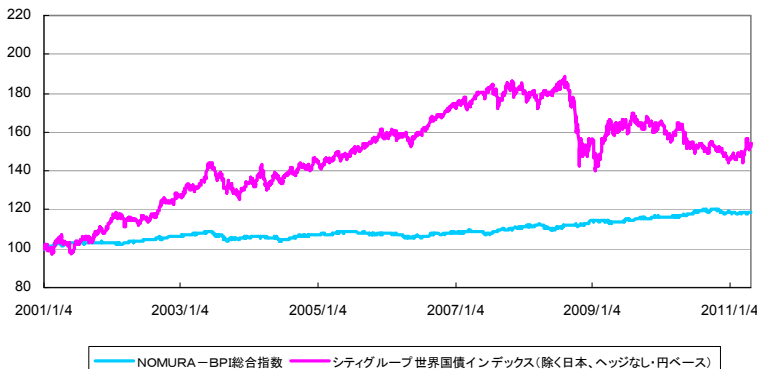
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

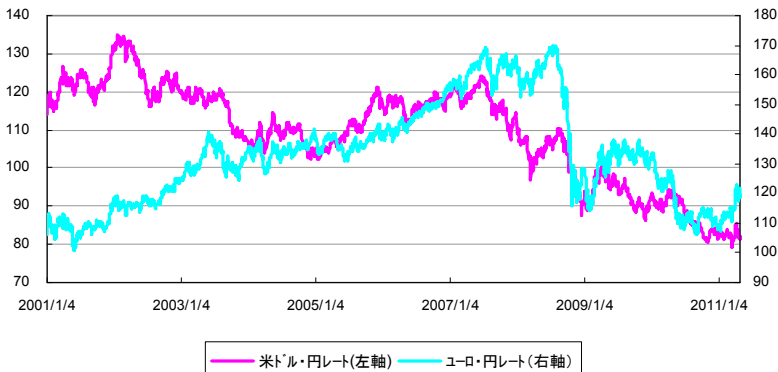


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険

特別勘定の月次運用レポート (2011年4月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の種類と運用方針について

| 特別勘定名 | 基本資産 配分比率 | 運用方針 | 利用する投資信託 | |
|---------------|--------------|--|--|-------------------------|
| | | | 投資信託名 | 委託会社 |
| ライフ・ソリューション30 | 株式 30% | マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の30%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 | アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定型(B) (適格機関投資家私募) | アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 |
| | 債券 70% | | | |
| ライフ・ソリューション50 | 株式 50% | マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の50%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 | アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定成長型(B) (適格機関投資家私募) | アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 |
| | 債券 50% | | | |
| ライフ・ソリューション70 | 株式 70% | マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の70%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 | アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 成長型(B) (適格機関投資家私募) | アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 |
| | 債券 30% | | | |
| 日本株式 | 日本株式 100% | マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。 | アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募) | アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 |
| 世界株式 | 世界株式 100% | マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国(日本を含む)の株式を投資対象に成長の可能性が高いと判断される「セクター」の中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資し、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。実質組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 | 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズH(為替ヘッジあり) | アライアンス・バーンスタイン株式会社 |
| 世界債券 | 世界債券 100% | 主として多種通貨建の投資適格格付確定利付証券に投資し、利息、配当収益、割引債券における償還差益および元本の変動等をもって、信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 | アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ポートフォリオ(クラス)受益証券 | アライアンス・バーンスタイン・エル・ビー |
| マネープール | 短期金融資産 100% | マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。 | アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募) | アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 |

※ 特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

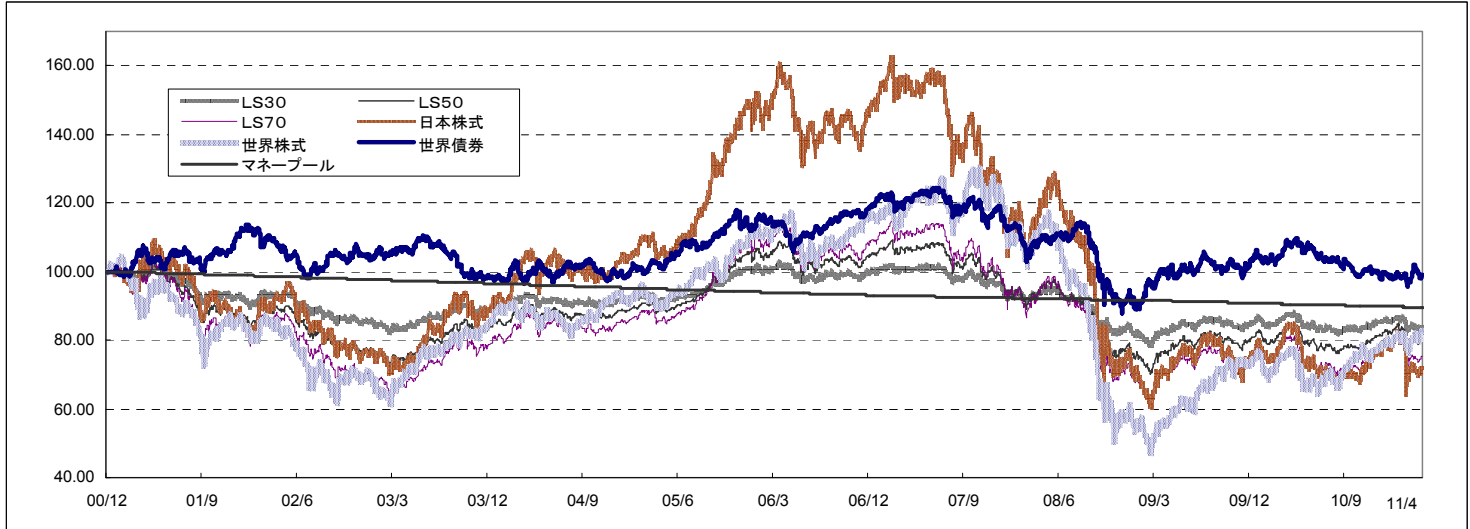
変額個人年金保険 特別勘定の月次運用レポート (2011年4月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2011年4月 末日現在]

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



| ライフ・ソリューション30 | | | |
|---------------|---------|-------|---------|
| ユニットプライス | 騰落率 (%) | | |
| 2011年4月末 | 84.08 | 過去1ヵ月 | ▲ 0.21 |
| 2011年3月末 | 84.26 | 過去3ヵ月 | ▲ 1.36 |
| 2011年2月末 | 86.26 | 過去6ヵ月 | 1.55 |
| 2011年1月末 | 85.24 | 過去1年 | ▲ 3.79 |
| 2010年12月末 | 85.04 | 過去3年 | ▲ 10.67 |
| 2010年11月末 | 83.60 | 設定来 | ▲ 15.92 |

| ライフ・ソリューション50 | | | |
|---------------|---------|-------|---------|
| ユニットプライス | 騰落率 (%) | | |
| 2011年4月末 | 80.09 | 過去1ヵ月 | ▲ 0.43 |
| 2011年3月末 | 80.44 | 過去3ヵ月 | ▲ 1.97 |
| 2011年2月末 | 83.42 | 過去6ヵ月 | 3.37 |
| 2011年1月末 | 81.70 | 過去1年 | ▲ 4.96 |
| 2010年12月末 | 81.28 | 過去3年 | ▲ 16.01 |
| 2010年11月末 | 79.00 | 設定来 | ▲ 19.90 |

| ライフ・ソリューション70 | | | |
|---------------|---------|-------|---------|
| ユニットプライス | 騰落率 (%) | | |
| 2011年4月末 | 75.29 | 過去1ヵ月 | ▲ 0.60 |
| 2011年3月末 | 75.74 | 過去3ヵ月 | ▲ 2.45 |
| 2011年2月末 | 79.47 | 過去6ヵ月 | 5.10 |
| 2011年1月末 | 77.18 | 過去1年 | ▲ 6.27 |
| 2010年12月末 | 76.59 | 過去3年 | ▲ 21.21 |
| 2010年11月末 | 73.71 | 設定来 | ▲ 24.71 |

| 日本株式 | | | |
|-----------|---------|-------|---------|
| ユニットプライス | 騰落率 (%) | | |
| 2011年4月末 | 71.82 | 過去1ヵ月 | ▲ 1.81 |
| 2011年3月末 | 73.15 | 過去3ヵ月 | ▲ 6.72 |
| 2011年2月末 | 80.28 | 過去6ヵ月 | 5.32 |
| 2011年1月末 | 76.99 | 過去1年 | ▲ 14.09 |
| 2010年12月末 | 75.87 | 過去3年 | ▲ 40.18 |
| 2010年11月末 | 72.32 | 設定来 | ▲ 28.18 |

| 世界株式 | | | |
|-----------|---------|-------|---------|
| ユニットプライス | 騰落率 (%) | | |
| 2011年4月末 | 82.88 | 過去1ヵ月 | 2.44 |
| 2011年3月末 | 80.90 | 過去3ヵ月 | 6.11 |
| 2011年2月末 | 80.72 | 過去6ヵ月 | 10.16 |
| 2011年1月末 | 78.11 | 過去1年 | 9.57 |
| 2010年12月末 | 78.11 | 過去3年 | ▲ 26.43 |
| 2010年11月末 | 74.27 | 設定来 | ▲ 17.11 |

| 世界債券 | | | |
|-----------|---------|-------|--------|
| ユニットプライス | 騰落率 (%) | | |
| 2011年4月末 | 99.00 | 過去1ヵ月 | ▲ 0.68 |
| 2011年3月末 | 99.68 | 過去3ヵ月 | 0.47 |
| 2011年2月末 | 98.01 | 過去6ヵ月 | 0.38 |
| 2011年1月末 | 98.54 | 過去1年 | ▲ 9.85 |
| 2010年12月末 | 97.64 | 過去3年 | ▲ 9.59 |
| 2010年11月末 | 101.71 | 設定来 | ▲ 0.99 |

- ※ 特別勘定のユニットプライスは、2000年12月18日のプライスを100.00として計算しています。
- ※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
- ※ 各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページ(下記参照)、およびインターネット対応の携帯電話(<https://online.axa.co.jp/ClientWeb/mobile.jsp>)にて各営業日にご確認ください。

| マネーブール | | | |
|-----------|---------|-------|---------|
| ユニットプライス | 騰落率 (%) | | |
| 2011年4月末 | 89.57 | 過去1ヵ月 | ▲ 0.10 |
| 2011年3月末 | 89.66 | 過去3ヵ月 | ▲ 0.27 |
| 2011年2月末 | 89.74 | 過去6ヵ月 | ▲ 0.52 |
| 2011年1月末 | 89.80 | 過去1年 | ▲ 0.99 |
| 2010年12月末 | 89.88 | 過去3年 | ▲ 2.79 |
| 2010年11月末 | 89.95 | 設定来 | ▲ 10.43 |

■特別勘定資産の内訳

| 項目 | ライフ・ソリューション30 | | ライフ・ソリューション50 | | ライフ・ソリューション70 | |
|------------|---------------|--------|---------------|--------|---------------|--------|
| | 金額(千円) | 比率 (%) | 金額(千円) | 比率 (%) | 金額(千円) | 比率 (%) |
| 現預金・コールローン | 0 | 0.0 | 22,568 | 0.4 | 27,208 | 0.8 |
| その他有価証券 | 3,290,092 | 100.0 | 6,372,133 | 99.6 | 3,560,525 | 99.2 |
| 合計 | 3,290,092 | 100.0 | 6,394,702 | 100.0 | 3,587,733 | 100.0 |

| 項目 | 日本株式 | | 世界株式 | | 世界債券 | | マネーブール | |
|------------|-----------|--------|-----------|--------|-----------|--------|---------|--------|
| | 金額(千円) | 比率 (%) | 金額(千円) | 比率 (%) | 金額(千円) | 比率 (%) | 金額(千円) | 比率 (%) |
| 現預金・コールローン | 33,640 | 1.1 | 39,710 | 1.6 | 28,197 | 1.2 | 73,524 | 14.6 |
| その他有価証券 | 3,123,870 | 98.9 | 2,404,546 | 98.4 | 2,380,572 | 98.8 | 431,781 | 85.4 |
| 合計 | 3,157,511 | 100.0 | 2,444,257 | 100.0 | 2,408,770 | 100.0 | 505,305 | 100.0 |

- ※ 各特別勘定で利用している国内投資信託並びに外国投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

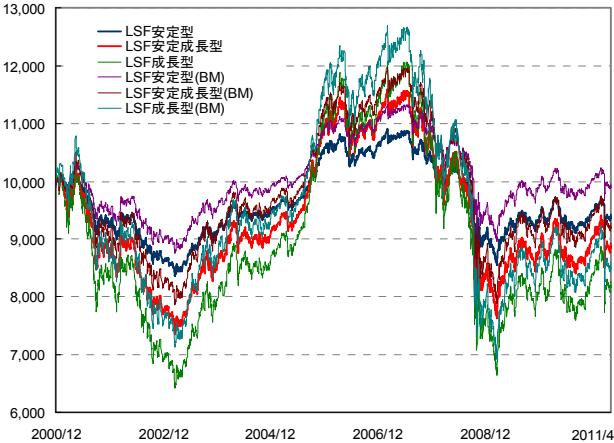
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険 特別勘定の月次運用レポート (2011年4月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社一切責任を負いません。

特別勘定 ライフ・ソリューション30・50・70 [2011年4月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

| | 過去 1ヵ月 | 過去 3ヵ月 | 過去 6ヵ月 | 過去 1年 | 過去 3年 | 設定来 |
|--------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|--------|
| LSF安定型 | ▲0.12% | ▲1.08% | 2.18% | ▲2.64% | ▲7.50% | ▲5.79% |
| BM | ▲0.31% | ▲1.02% | 1.97% | ▲2.20% | ▲6.64% | ▲0.41% |
| 差 | 0.19% | ▲0.06% | 0.21% | ▲0.43% | ▲0.86% | ▲5.38% |

| | 過去 1ヵ月 | 過去 3ヵ月 | 過去 6ヵ月 | 過去 1年 | 過去 3年 | 設定来 |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|---------|
| LSF安定成長型 | ▲0.34% | ▲1.66% | 4.07% | ▲3.79% | ▲13.10% | ▲10.75% |
| BM | ▲0.57% | ▲1.85% | 3.27% | ▲4.04% | ▲13.36% | ▲7.19% |
| 差 | 0.24% | 0.18% | 0.80% | 0.25% | 0.26% | ▲3.56% |

| | 過去 1ヵ月 | 過去 3ヵ月 | 過去 6ヵ月 | 過去 1年 | 過去 3年 | 設定来 |
|--------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|---------|
| LSF成長型 | ▲0.49% | ▲2.15% | 5.82% | ▲5.14% | ▲18.58% | ▲17.24% |
| BM | ▲0.81% | ▲2.65% | 4.54% | ▲5.79% | ▲20.08% | ▲13.95% |
| 差 | 0.31% | 0.50% | 1.28% | 0.65% | 1.50% | ▲3.29% |

■当投資信託の資産配分比率

| | 基本資産配分 | LSF安定型 |
|---------|---------|---------|
| 日本株式 | 24.00% | 18.59% |
| 米国株式 | 3.00% | 5.17% |
| 欧州株式 | 3.00% | 7.72% |
| 日本債券 | 30.00% | 30.73% |
| 短期金融資産等 | 40.00% | 37.80% |
| 合計 | 100.00% | 100.00% |

| | 基本資産配分 | LSF安定成長型 |
|---------|---------|----------|
| 日本株式 | 40.00% | 33.69% |
| 米国株式 | 5.00% | 6.38% |
| 欧州株式 | 5.00% | 11.39% |
| 日本債券 | 25.00% | 25.12% |
| 短期金融資産等 | 25.00% | 23.41% |
| 合計 | 100.00% | 100.00% |

| | 基本資産配分 | LSF成長型 |
|---------|---------|---------|
| 日本株式 | 55.00% | 48.40% |
| 米国株式 | 7.50% | 9.14% |
| 欧州株式 | 7.50% | 14.22% |
| 日本債券 | 17.50% | 17.39% |
| 短期金融資産等 | 12.50% | 10.85% |
| 合計 | 100.00% | 100.00% |

※ 各資産の投資信託欄は、原則、当投資信託における各マザー・ファンド保有率を記載しております。(短期金融資産等については、当投資信託で保有する現金等も含んでおります。)

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は、LSF30(安定型)、LSF50(安定成長型)、LSF70(成長型)それぞれ、前月末比▲0.12%、▲0.34%、▲0.49%となりました。一方、ベンチマークの騰落率は、前月末比▲0.31%、▲0.57%、▲0.81%となり、ベンチマーク対比+0.19%、+0.24%、+0.31%となりました。

当月の当投資信託は、ベンチマーク対比で資産配分効果および銘柄選択効果の双方が奏功しました。特に、日本株式ファンドをベンチマークに対して少なめに保有していたことはプラスの寄与となりました。一方で、日本債券ファンドの銘柄選択がマイナスの寄与となり足をひっぱりましたが、総合的にみるとプラスとなりました。

当月、グローバル経済は軟調な兆しが見え始めました。主な経済先行指数は依然上向しているものの、勢いを失いつつあり、世界各国がそれぞれ経済的な問題に直面しています。欧州ではソブリン問題が再燃し、中東および北アフリカでは政治情勢の混乱が継続していることに加え、日本の震災被害によるサプライチェーン問題が世界の貿易へ影響を与えているほか、新興国におけるインフレ率の上昇など、経済に与える影響が懸念されています。

このような環境下ではありますが、委託会社はグローバル経済の見通しについて大きな変更は行なっていません。2011年の米国GDPは若干の低下の2.9%とし、12月の決算シーズンを目前に2012年には2.6%に低下するとみています。新興国では、過熱化した市場に対する政府の措置から市場は減速し、欧州地域では、緊縮財政による低成長が長期化すると予想しています。日本は震災被害や原発問題により経済は減速するとみていますが、2012年には再建による回復がみられると予想しています。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ～9ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 LSF30 ⇒ アクサ ローゼンバーク・ライフ・ソリューション・ファンド 安定型(B) (適格機関投資家私募)
LSF50 ⇒ アクサ ローゼンバーク・ライフ・ソリューション・ファンド 安定成長型(B) (適格機関投資家私募)
LSF70 ⇒ アクサ ローゼンバーク・ライフ・ソリューション・ファンド 成長型(B) (適格機関投資家私募)

【委託会社】 アクサ・ローゼンバーク証券投資信託顧問株式会社

【運用方針】

マザー・ファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の30%・50%・70%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主として
アクサ ローゼンバーク・日本株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
アクサ ローゼンバーク・米国株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
アクサ ローゼンバーク・欧州株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
アクサ ローゼンバーク・日本債券マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)、
アクサ ローゼンバーク・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)
に投資します。

* LS: 特別勘定 ライフ・ソリューション

* LSF: アクサ ローゼンバーク・ライフ・ソリューション・ファンド

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

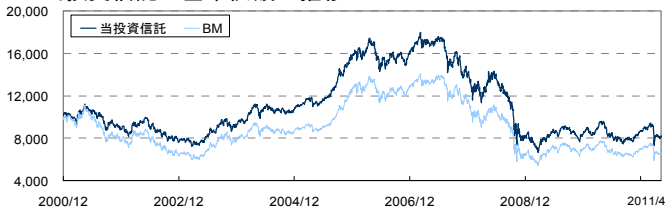
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険 特別勘定の月次運用レポート (2011年4月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 日本株式 [2011年4月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

| | 過去 1ヵ月 | 過去 3ヵ月 | 過去 6ヵ月 | 過去 1年 | 過去 3年 | 設定来 |
|------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|---------|
| 投資信託 | ▲1.75% | ▲6.18% | 6.42% | ▲12.88% | ▲38.48% | ▲17.61% |
| BM | ▲2.02% | ▲6.40% | 5.05% | ▲13.70% | ▲37.30% | ▲33.93% |
| 差 | 0.26% | 0.22% | 1.37% | 0.82% | ▲1.18% | 16.32% |

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)¹⁾です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○業種別構成比率

| 業種 | マザーファンド |
|----------|---------|
| 1 電気機器 | 12.03% |
| 2 輸送用機器 | 10.53% |
| 3 卸売業 | 9.42% |
| 4 情報・通信業 | 9.26% |
| 5 銀行業 | 6.91% |
| 6 化学 | 5.95% |
| 7 食料品 | 5.26% |
| 8 小売業 | 5.14% |
| 9 その他業種 | 33.96% |
| 10 現金等 | 1.55% |
| 合計 | 100.00% |

- 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額となります。

○市場別構成比率

| 市場 | マザーファンド |
|---------------|---------|
| 1 東京証券取引所第一部 | 96.41% |
| 2 大阪証券取引所第一部 | 1.48% |
| 3 ジャスダック証券取引所 | 0.28% |
| 4 東京証券取引所第二部 | 0.21% |
| 5 大阪証券取引所第二部 | 0.03% |
| 6 名古屋証券取引所第一部 | 0.01% |
| 7 名古屋証券取引所第二部 | 0.02% |
| 8 現金等 | 1.55% |
| 合計 | 100.00% |

○組入上位10銘柄

| 銘柄 | 業種 | マザーファンド |
|-------------------|--------|---------|
| 1 三井住友フィナンシャルグループ | 銀行業 | 3.28% |
| 2 エス・ティ・ティ・ドコモ | 情報・通信業 | 3.14% |
| 3 日本電信電話 | 情報・通信業 | 3.14% |
| 4 日産自動車 | 輸送用機器 | 2.87% |
| 5 日本たばこ産業 | 食料品 | 2.78% |
| 6 パナソニック | 電気機器 | 2.71% |
| 7 日立製作所 | 電気機器 | 2.69% |
| 8 KDDI | 情報・通信業 | 2.69% |
| 9 三菱電機 | 電気機器 | 2.45% |
| 10 住友商事 | 卸売業 | 2.34% |
| 合計 | | 28.09% |
| 組入銘柄数 | | 184銘柄 |

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比▲1.75%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比▲2.02%となりました。当月の日本株式市場は純資産利回りが高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマークに対して多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、下落した輸送および金属を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した飲料・タバコ、移動体通信を多めに保有していたことや下落した家庭用品を少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、下落した三菱電機(6503)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、下落したソニー(6758)を保有していなかったことや上昇した日産自動車(7201)を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ~9ページに記載されている「*1~*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

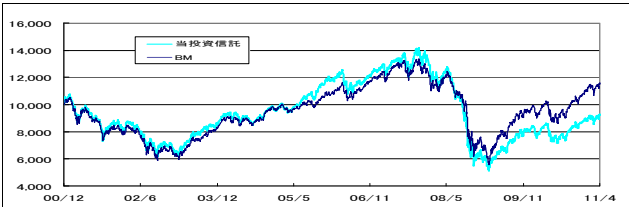
変額個人年金保険

特別勘定の月次運用レポート (2011年4月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 世界株式 [2011年4月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

| | 過去 1か月 | 過去 3か月 | 過去 6か月 | 過去 1年 | 過去 3年 | 設定来 |
|------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|---------|
| 投資信託 | 2.60% | 6.52% | 11.03% | 11.15% | ▲24.27% | ▲6.78% |
| BM | 2.89% | 6.08% | 13.59% | 16.27% | ▲2.90% | 16.40% |
| 差 | ▲0.29% | 0.44% | ▲2.56% | ▲5.12% | ▲21.37% | ▲23.18% |

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス[®](税引前配当金込/為替ヘッジあり/円ベース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国/地域別構成比率

| 国名 | マザーファンド |
|------------|---------|
| 1 アメリカ | 47.72% |
| 2 イギリス | 10.78% |
| 3 ブラジル | 4.32% |
| 4 日本 | 3.98% |
| 5 アイルランド | 3.05% |
| 6 フランス | 2.97% |
| 7 ドイツ | 2.84% |
| 8 カナダ | 2.18% |
| 9 その他の国/地域 | 19.68% |
| 10 現金等 | 2.50% |
| 合計 | 100.00% |

○ セクター別構成比率

| セクター | マザーファンド |
|--------------|---------|
| 1 情報技術 | 22.21% |
| 2 金融 | 15.88% |
| 3 資本財・サービス | 12.10% |
| 4 一般消費財・サービス | 11.67% |
| 5 素材 | 9.96% |
| 6 エネルギー | 9.90% |
| 7 ヘルスケア | 8.42% |
| 8 生活必需品 | 7.37% |
| 9 その他のセクター | 0.00% |
| 10 現金等 | 2.50% |
| 合計 | 100.00% |

○ 組入上位10銘柄

| 銘柄 | 国名 | セクター | 業態 | マザーファンド |
|------------------|------|----------|--------------|---------|
| 1 アップル | アメリカ | 情報技術 | パソコン | 3.29% |
| 2 オラクル | アメリカ | 情報技術 | ソフトウェア | 1.88% |
| 3 リオ・ティント | イギリス | 素材 | 鉱業 | 1.70% |
| 4 クアルコム | アメリカ | 情報技術 | 通信システム | 1.69% |
| 5 IBM | アメリカ | 情報技術 | コンピューター | 1.68% |
| 6 スタンダード・チャータード | イギリス | 金融 | 銀行 | 1.52% |
| 7 グーグル | アメリカ | 情報技術 | インターネット | 1.43% |
| 8 ユナイテッド・テクノロジーズ | アメリカ | 資本財・サービス | 航空機部品・エレベーター | 1.41% |
| 9 ヴァーレ | ブラジル | 素材 | 鉱業 | 1.38% |
| 10 サンコア・エナジー | カナダ | エネルギー | 総合エネルギー | 1.37% |
| 合計 | | | | 17.35% |
| 組入銘柄数 | | | | 126銘柄 |

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+2.60%となりました。一方、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス(税引前配当金込/為替ヘッジあり/円ベース)の騰落率は前月末比+2.89%となりました。(以下、委託会社独自のセクター別で記載。)

ベンチマークとの比較では、セクター配分はベンチマーク並みとなったものの、銘柄選択がマイナス要因となりました。セクター配分では、電気通信サービス・セクターを低めに組入れたことなどがプラスに寄与する一方で、生活必需品セクターを低めに組入れたことなどはマイナスに働きました。銘柄選択ではエネルギー・セクターなどにおける選択がマイナス要因となりました。

当投資信託は、金利上昇、先行き不透明な量的緩和策や中東・北アフリカにおける地政学的リスクなどが短期的には株式市場にとって逆風となるものの、景気見通しが不透明な環境下においても持続的な成長が見込まれる銘柄を中心に組入れています。委託会社においては、今後、米国で利上げが実施されると市場の圧迫要因となると予想しておりますが、長期的には世界経済は着実に回復に向かうと見ています。ポートフォリオ内では、一般消費財や素材、資本財関連のシクリカル銘柄に着目しており、それらの銘柄が今後3-6か月で奏功する可能性が高いと考えています。

今後も、アナリストによる徹底した企業分析を通じて、成長が見込まれ、かつ株価水準が妥当な優良銘柄を選別する方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ~9ページに記載されている「*1~*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

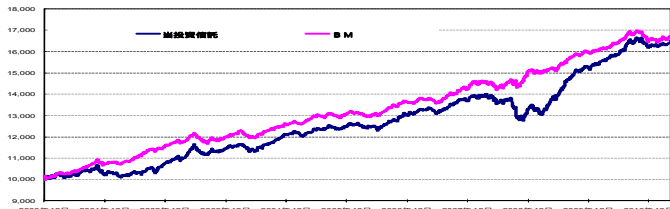
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険 特別勘定の月次運用レポート (2011年4月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 世界債券 [2011年4月 末日現在]

■当投資信託の純資産価格の推移



※ 2000年12月21日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

| 投資信託 | 過去1か月 | 過去3か月 | 過去6か月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|------|-------|-------|--------|-------|--------|---------|
| 投資信託 | 1.02% | 1.03% | ▲0.36% | 4.45% | 18.63% | 116.78% |
| BM | 0.91% | 1.01% | ▲0.85% | 3.01% | 15.35% | 124.03% |
| 差 | 0.11% | 0.02% | 0.49% | 1.44% | 3.28% | ▲7.25% |

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(1996年11月20日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、パークレイズ・キャピタル・グローバル総合インデックス⁷です。

・比率は、投資信託組入銘柄に対する比率となります。

■当投資信託の詳細情報

○ 国別構成比率

| 順位 | 国名 | 投資信託 |
|----|----------|---------|
| 1 | アメリカ | 34.43% |
| 2 | イギリス | 12.12% |
| 3 | フランス | 9.12% |
| 4 | カナダ | 8.95% |
| 5 | スウェーデン | 4.81% |
| 6 | オランダ | 4.36% |
| 7 | ベルギー | 4.27% |
| 8 | ニュージーランド | 2.81% |
| 9 | その他 | 19.25% |
| 10 | 現金等 | -0.12% |
| 合計 | | 100.00% |

○ 格付別構成比率

| 格付 | 投資信託 |
|-----|---------|
| AAA | 46.46% |
| AA | 8.21% |
| A | 27.27% |
| BBB | 16.60% |
| BB | 1.46% |
| 合計 | 100.00% |

注) 現金等はAAAに含まれます。

格付基準:

※ ムーディーズ社またはスタンダード&プアーズ(S&P)社のうち、いずれか高いほうを採用しています。

○ 債券種別資産構成比率

| 順位 | 債券種別 | 投資信託 |
|----|----------------|---------|
| 1 | 国債 | 40.87% |
| 2 | 投資適格社債 | 37.60% |
| 3 | 政府関連債 | 3.96% |
| 4 | カバード・ボンド | 3.23% |
| 5 | インフレ連動債 | 3.17% |
| 6 | モーゲージ・パス・スルー証券 | 3.06% |
| 7 | 商業用不動産担保証券 | 3.00% |
| 8 | 国際機関債 | 1.60% |
| 9 | その他 | 3.63% |
| 10 | 現金等 | -0.12% |
| 合計 | | 100.00% |

○ 組入上位10債券種類

| 順位 | 銘柄 | 国名 | 格付 | | 投資信託 |
|----|------------------------------|----------|--------|-----|--------|
| | | | ムーディーズ | S&P | |
| 1 | アメリカ国債(2/15/15-11/15/18) | アメリカ | Aaa | AAA | 9.08% |
| 2 | カナダ国債(3/15/14-6/1/15) | カナダ | Aaa | AAA | 7.18% |
| 3 | フランス国債(12/26/12-10/25/19) | フランス | Aaa | AAA | 6.39% |
| 4 | ベルギー国債(3/28/15) | ベルギー | Aa1 | AA+ | 4.27% |
| 5 | イギリス国債(9/27/13-12/7/15) | イギリス | Aaa | AAA | 3.31% |
| 6 | ファニーメイ(9/1/29-5/1/38) | アメリカ | Aaa | AAA | 2.94% |
| 7 | ニュージーランド国債(12/15/17-5/15/21) | ニュージーランド | Aaa | AAA | 2.54% |
| 8 | イタリア国債(4/15/13-8/1/14) | イタリア | Aa2 | A+ | 2.31% |
| 9 | イギリスインフレ連動債(8/16/13) | イギリス | Aaa | AAA | 2.02% |
| 10 | 南アフリカ国債(1/15/14-9/15/17) | 南アフリカ | A3 | A | 1.78% |
| 合計 | | | | | 41.82% |

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

○ 通貨別構成比率

| 順位 | 債券種別 | 投資信託 |
|----|--------|---------|
| 1 | アメリカドル | 97.96% |
| 2 | その他 | 2.04% |
| 合計 | | 100.00% |

○ ポートフォリオの状況

| 平均デュレーション | 投資信託 |
|-----------|------|
| 平均デュレーション | 3.27 |

※ 「平均デュレーション」とは、当ファンドの組入銘柄のデュレーションを平均したものです。債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の感応度を示します。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

当投資信託の騰落率は前月末比+1.02%、一方、ベンチマークであるパークレイズ・キャピタル・グローバル総合インデックスは前月末比+0.91%となりました。4月のパフォーマンスに最もプラス寄与したのは通貨選択およびセクター選択でしたが、イールドカーブ戦略(短期債、長期債の配分戦略)はマイナス要因となりました。当投資信託では年初に金利上昇環境において資産保全のため金利のデュレーションを短めにしてはいますが、インフレ圧力の高まりからインフレ連動債の保有比率は維持しています。国別配分では、ユーロ圏周辺国の国債と社債の保有比率を最小限にとどめています。また、日本の債券については、ヘッジベースでも利回り面の魅力が乏しいため、ほとんど保有をしておりません。世界経済は引き続き好調ですが、ここ数ヶ月は日本の製造業生産の震災後の落ち込みや原油価格の持続的上昇など逆風が吹いています。委託会社は2011年の世界経済については成長率を3.4%、インフレ率を3.3%と予想しています。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ~9ページに記載されている「*1~*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

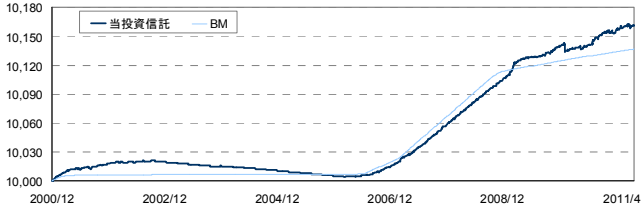
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険 特別勘定の月次運用レポート (2011年4月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 マネープール [2011年4月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)
 【委託会社】 アクサ・ローゼンバーグ証券投資信託顧問株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■当投資信託の騰落率

| 投資信託 | 過去1か月 | 過去3か月 | 過去6か月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 投資信託 | 0.00% | 0.03% | 0.08% | 0.24% | 0.86% | 1.62% |
| BM | 0.00% | 0.02% | 0.04% | 0.09% | 0.52% | 1.37% |
| 差 | ▲0.00% | 0.01% | 0.04% | 0.15% | 0.34% | 0.25% |

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

※ また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日本円無担保コールオーバーナイト物レート⁵⁾により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものです。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○資産構成

| | 修正デュレーション | マザーファンド |
|---------|-----------|---------|
| 公社債 | 0.58年 | 64.56% |
| 国債 | 1.41年 | 22.95% |
| 地方債 | 0.00年 | 0.00% |
| 特殊債・財投債 | 0.00年 | 0.00% |
| 金融債 | 0.00年 | 0.00% |
| 社債等 | 0.12年 | 41.62% |
| その他 | 0.00年 | 0.00% |
| 短期資産等 | 0.53年 | 35.44% |
| CD | | 0.00% |
| CP | | 0.00% |
| TB/FB | | 34.09% |
| コールローン | | 1.35% |
| その他 | | 0.00% |
| 合計 | 0.56年 | 100.00% |

○公社債の格付別構成比率

| 格付区分 | マザーファンド |
|------------|---------|
| AAA | 23.02% |
| AA | 73.15% |
| A | 3.83% |
| BBB | 0.00% |
| BB以下(無格付含) | 0.00% |
| 合計 | 100.00% |

格付基準 ※ 海外格付機関の格付を優先します。 ※ コールローンは格付別構成比率には含めていません。

※ 海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付けを採用します。

※ F/B等国債同等の無格付短期資産においては短期格付をP-1格とします。

※ TB/FBに分類された1年未満の国債については「○公社債の格付別構成比率」に含めています。

○短期資産等の格付別構成比率

| 格付区分 | マザーファンド |
|------|---------|
| P-1 | 0.00% |
| P-2 | 0.00% |
| P-3 | 0.00% |
| 無格付 | 0.00% |
| 合計 | 0.00% |

※ 「TB/FB」には、残存期間が1年未満の国債を含みます。

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+0.00%、一方、ベンチマークである日本円無担保コールオーバーナイト物レートは前月末比+0.00%となりました。4月の日本経済指標は、電力問題とサプライチェーンの混乱が当初の見通し以上に深刻であったことから予想以上に悪化しました。3月の鉱工業生産は前月比で▲15.3%と過去最大の落ち込みとなりました。自動車メーカー大手3社は生産が大幅に落ち込み、3月の貿易統計輸出総額は前年同月比が16ヶ月ぶりに下回る2.2%減となりました。一方、全国CPI(除く生鮮)は前年比で前月の▲0.3%から▲0.1%へ改善しました。S&Pは日本国債の見通しを「弱含み」に変更しましたが、当月の2年国債利回りは若干低下の0.205%とほぼ前月と同水準となりました。当月の当投資信託は、資金流入が限定的であったことから現状を維持しました。今後は世界的に軟調な経済が続き、年末までに利回りは低下するが、短期国債は同水準を維持すると委託会社はみており、流動性の高い国債と質の高い社債への投資機会を狙いながら安定した運用と利回りの向上をめざします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。 ・5ページ~9ページに記載されている「*1~*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

用語説明

- *1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下株東証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は株東証券取引所が有しています。株東証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- *2 「S&P500種株価指数」とは、スタンダード&プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S&P500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電売相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- *3 「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc.の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(ユーロベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電売相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- *4 「日興債券パフォーマンス・インデックス(総合)」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は日興コーディアル証券株式会社に帰属します。また、日興コーディアル証券株式会社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- *5 「日本円無担保コールオーバーナイト物レート」について、コール市場とは、民間金融機関が短期的な手元資金の余剰や不足を調整するための市場をいいます。このコール市場において、金融機関間で、担保なしで、翌日に返済することを条件に、短期の資金を貸し借りする取引に適用される金利を「無担保コールオーバーナイト物レート」といいます。
- *6 「MSCIワールド・インデックス」とは、MSCI Inc.が世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIワールド・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCIワールド・インデックス(税引前配当金込/為替ヘッジあり/円ベース)は、MSCIワールド・インデックス(米ドルベース)をもとに、為替ヘッジにかかる費用相当分を考慮して委託会社が円ヘッジベースに換算したものです。
- *7 「パークレイズ・キャピタル・グローバル総合インデックス」とは、パークレイズ・バンク・ビーエルシーの投資銀行部門であるパークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の投資適格債券市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他一切の権利はパークレイズ・キャピタルに帰属します。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険のリスク及び諸費用について ①

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、主として国内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託を利用して運用され、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

ご契約者などにご負担いただくこの保険の諸費用は、次のとおりです。

<年金支払開始日前>

●特別勘定のユニットプライス(単位価格)を計算する前にご負担いただく費用

| 項目 | 時期 | 費用 | 備考 |
|---------------------|---------|---------------------------------|---|
| 契約初期費用 (増額費用) | 特別勘定繰入前 | 保険料の 2.0% | 保険料から契約初期費用として2.0%が控除された後の金額が積立金として特別勘定で運用されます。 (増額費用も同じ) |
| 保険契約管理費 (積立金比例額) | 毎日 | 特別勘定の積立金総額に対して 年率1.2% | 当社の経費に充当されます。 (基本保険金額を死亡時に最低保証するための費用および災害死亡保険金のための費用を含みます。) |

* 毎日その日の始めの特別勘定の積立金総額に年率1.2%の365分の1を乗じた金額を毎日その日の終わりの特別勘定の積立金総額から控除します。

●ご契約の内容と取引の内容による費用

特別勘定のユニットプライス(単位価格)を計算した後にご負担いただく費用は、次のとおりです。

| 項目 | 時期 | 費用 | 備考 |
|--------------------|-----------------------------|---|---|
| 保険契約管理費 (件数比例額) | 月単位の契約応当日 | 毎月 100円 | 契約1件あたり毎月の契約応当日の前日の積立金の合計額から控除します。 |
| 積立金移転費用 | 移転時 | <書面による移転申込みの場合> 1回目 1,500円 2回目以降は1回につき 2,300円 ^(*) | 毎回の移転について積立金から控除します。 |
| | | <インターネットによる移転申込みの場合> 月1回の積立金の移転は 無料 2回目からは1回につき 800円 ^(*) | 1か月に2回以上積立金の移転を行なう場合、2回目からの移転について積立金から控除します。 |
| 貸付利息 | 月単位の契約応当日 および 貸付金の返済時 | 貸付金額の年利 1.2% | 貸付金制度を利用されたとき、月単位の契約応当日および貸付金の返済時に、積立金から徴収します。 |
| 解約控除 | 解約時 | 積立金額の 8.0%~0.8% | 解約日が契約日または増額日より起算して10年未満の場合には、経過年数(1年未満切り上げ)に応じて、積立金額に対して解約控除率(8%から0.8%)を乗じた金額を積立金額から控除します。 |
| | 減額時 | 減額に相当する積立金額の 8.0%~0.8% | 減額日が契約日または増額日より起算して10年未満の場合には、経過年数(1年未満切り上げ)に応じて、減額に相当する積立金額に対して解約控除率(8%から0.8%)を乗じた金額を減額に相当する積立金額から控除します。 |

(*) 月単位の契約応当日から翌月の契約応当日の前日までに積立金移転を行なった回数

※ 貸付制度は、ご契約が成立後、会社の定める範囲内で何回でも貸付を受けることができます。

※ 将来、上記の内容が変更になることがあります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険のリスク及び諸費用について ②

●その他間接的にご契約者にご負担いただく運用関係の費用は、次のとおりです。

| 項目 | 時期 | 費用 | 備考 |
|-------|----|--|--------------------------------|
| 運用関係費 | 毎日 | ライフ・ソリューション30 年率 0.945%程度 (税抜0.900%程度) | 特別勘定が利用する投資信託の純資産額に対して控除いたします。 |
| | | ライフ・ソリューション50 年率 1.050%程度 (税抜1.000%程度) | |
| | | ライフ・ソリューション70 年率 1.155%程度 (税抜1.100%程度) | |
| | | 日本株式 年率 0.840%程度 (税抜0.800%程度) | |
| | | 世界株式 年率 0.8925%程度 (税抜0.850%程度) | |
| | | 世界債券 年率 0.650%程度 ^{*1} | |
| | | マネーパール 年率 0.034125%～年率0.483000%程度 (税抜0.0325%～0.4600%程度) ^{*2} | |

※ 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料及び消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

これらの運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

*1 世界債券のみ、ルクセンブルグ籍の投資信託を使用しているため、管理報酬等を記載しております。

管理報酬等には、予め定率として決められている管理報酬および管理会社報酬が含まれます。

その他、お客さまにご負担いただく手数料には、保管報酬、管理事務代行報酬、名義書換代行報酬、ルクセンブルグ大公国の法令に基づく税金等、有価証券の売買手数料、保有する有価証券の譲渡・償還益および配当やクーポンに対する源泉徴収税等の諸費用がかかることがあります。運用資産額の取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。

*2 マネーパールの運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

<年金支払開始日以後>

●年金支払開始日以後にご負担いただく費用

| 項目 | 時期 | 費用 | 備考 |
|-------|-----------|--------------------|------------------------------------|
| 年金管理費 | 年単位の契約応当日 | 支払年金額の 1.0% | 年金支払開始日以後、年単位の契約応当日に責任準備金から控除されます。 |

※ 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>